



VILLANOVA ICÔNE | COURTESY OF HAMONIC+MASSON & ASSOCIÉS



VECTORWORKS®
ARCHITECT

建築／建設業界のBIMプロセスを強力に推進

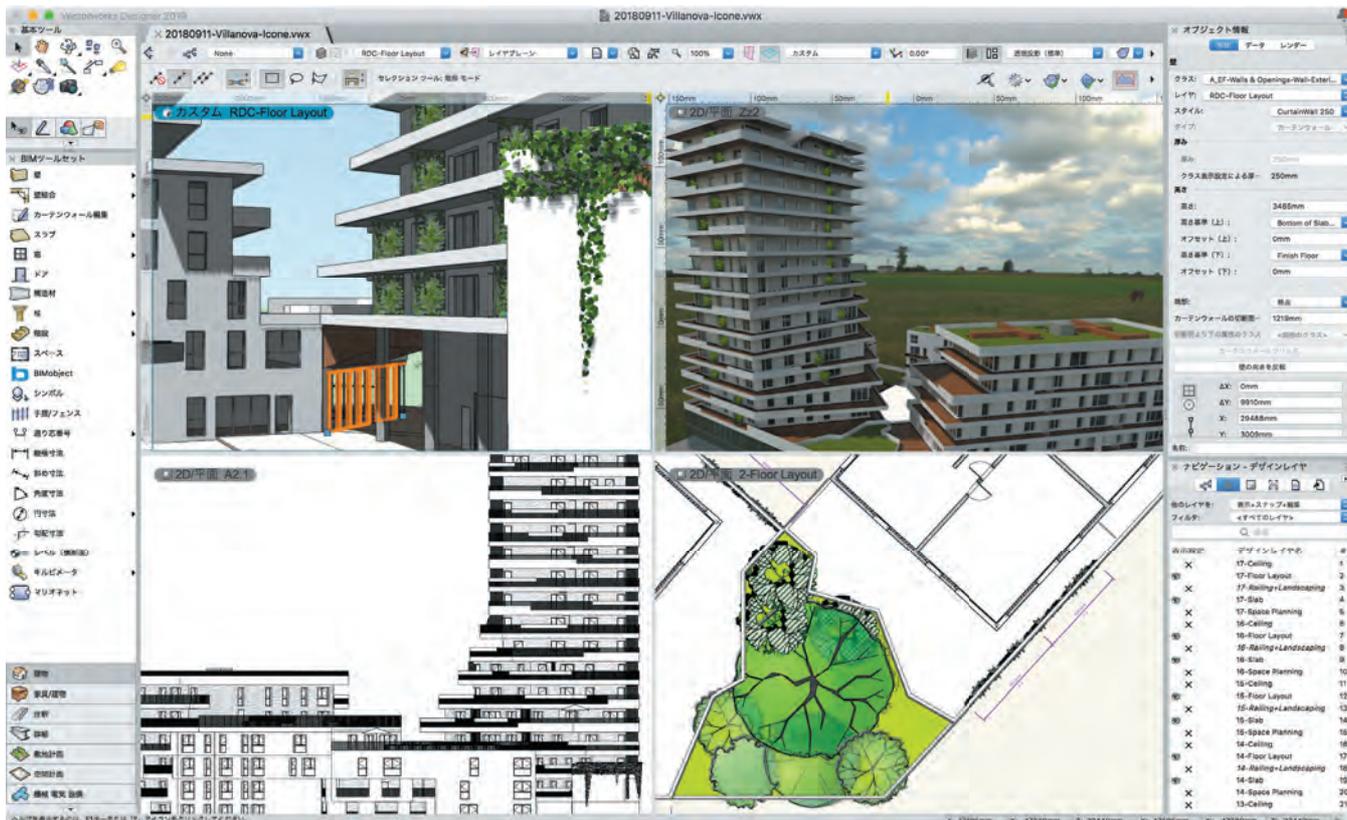
「Vectorworks Architect 2019」は、高性能な2D/3D汎用作図機能と3Dビジュアライズ(テクスチャマッピング/レンダリング等)機能に加え、建築設計や内装、ディスプレイデザインに対応した先進的なBIM・インテリア設計支援機能、拡張機能、さらには豊富な建築向けのデータライブラリを搭載した建築/内装業界向け製品です。

A&A

汎用作図 + BIM 対応建築設計機能

「Vectorworks Architect」は、Vectorworks Fundamentals の全機能を搭載し、汎用デザインから BIM 対応の建築設計、内装設計までをカバーします。加えて Renderworks-3D ビジュアルライズ機能を搭載しています。

Vectorworks Architect
の主な機能と特長をご覧
いただけるオンデマンド
動画です。
[http://www.aanda.co.jp/
movie/QR/arch/](http://www.aanda.co.jp/movie/QR/arch/)



インターフェイス

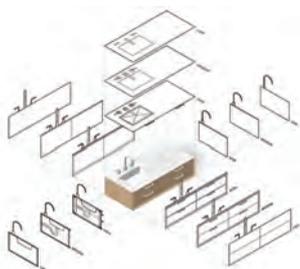
設計環境の利便性を高める機能が搭載されています。計画の軸に応じて図面を回転できる機能や、クラスやレイヤなどのファイル構造を一覧できるナビゲーションパレットによって、作業環境をすぐに切り替えることができます。



カスタマイズ可能な

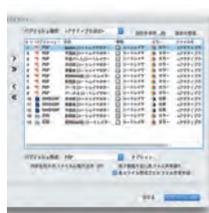
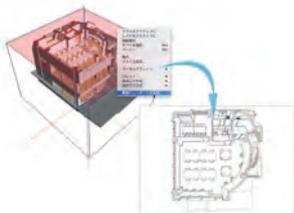
ハイブリッドオブジェクトの2D コンポーネント

3D 環境での作業が多くなっている今、3D モデルや BIM モデルから図面を効率的に取り出す方法が求められています。ハイブリッドオブジェクトの 2D 表示を自由に設定できる機能が搭載されたことで、シンボルやプラグインオブジェクトの詳細度を完全にコントロールできます。どのようなハイブリッドオブジェクトでも、右クリックして編集画面に入るだけで、平面図や立面図、断面図に必要な図面表現を作図できます。



設計環境

クリップキューブを使って、直感的に切断位置を決定して水平面や垂直面の断面図を取り出すことができます。取り出した立断面図は、ダブルクリックすることでオブジェクトを直接編集できます。平面のビューポートは、表示されているオブジェクトの情報をもとに色分けできるため、カラースキームなども容易に表示可能です。作成した図面は強化されたパブリッシュ機能により、PDF やイメージ、印刷などを手早く一括処理できます。



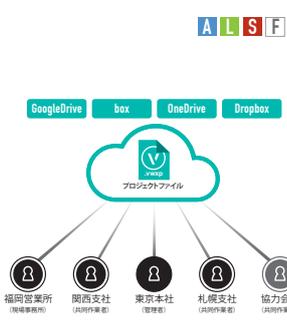
データタグで時間短縮

柔軟性が設計作業とマッチすることで、ワークフローはさまざまな面でスムーズになります。新しいデータタグツールは、一貫性を伴う強力なタグ付けを可能にし、3D モデルやビューポートにあるオブジェクトやシンボルの情報を表示できます。データタグは、個別に、または自動的に複数のオブジェクトをタグ付けし、グラフィック表示を自由にカスタマイズできます。この機能によって時間を節約すると同時に、図面でのデータ表示の管理方法をシンプルにします。



協働設計

複数人で設計を進める場合、プロジェクト共有が有効な手段です。追加のソフトウェアやコストを必要とせず、共有設定をしたファイルをサーバに置くだけで開始できます。それぞれの状況を確認しながら、お互いの作業が干渉することなく協働設計を進めることが可能です。また、シンボルやハッチング、壁スタイルなど共通して使うリソースは、ワークグループ機能を使うことで一元管理できます。参照元のファイルを変更するだけで、全員のリソースを更新することが可能です。



ファイル互換性

Fundamentals では対応していない多くのファイル形式の取り込み / 取り出しが可能で、各 CAD ソフト、3D ソフト、グラフィックソフトとの互換を実現します。ファイルを Vectorworks にドラッグ & ドロップするだけで、取り込み設定のダイアログが表示され、素早く作業に移ることができます。



VECTORWORKS® ARCHITECT

数値で管理できる階高設定

A L S F

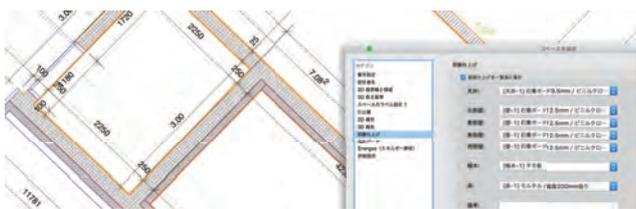
建物の計画には高さ方向の寸法を押さえることが必要です。ストーリー機能を使うと、各階の FL を設計 GL からの高さで決定できます。さらに、天井上げや腰壁天端などのように、1つのフロアにあるさまざまな仕上げのレベルを、各 FL からのオフセット寸法として規定することが可能です。これにより、壁やスラブなどの建築オブジェクトは仕上げレベルに追従するように高さを自動的に調整します。階高が変わった場合も、1つの数値を変更するだけで建築モデルは自動修正されます。



柔軟な空間プログラム

UP A L S F

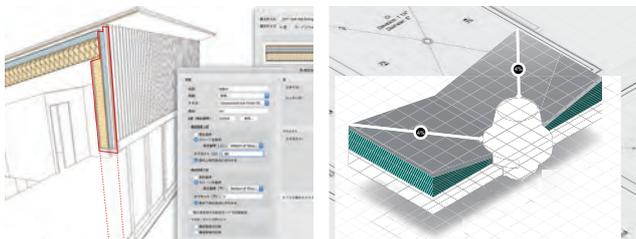
空間は建物の内部を満たす重要な要素です。スペースツールを使うと、リビングや廊下、寝室など具体的な部屋名とともに広さを定義できます。さらにスペースオブジェクトでは、部屋に関わる多くの情報を設定でき、それらをワークシートと呼ばれる一覧表に集計が可能です。特に部屋の仕上げは設計図書でも必要なものです。スペースに天井や壁などの仕上げ情報を登録することで、素早く仕上げ一覧表を作成できます。集計した情報は、ワークシートからも変更でき、モデルと一覧表の双方向編集が可能です。スペーススタイルを活用することで、モデリングを省力化し管理が容易になります。



専用ツールで建築モデリング

A L S F

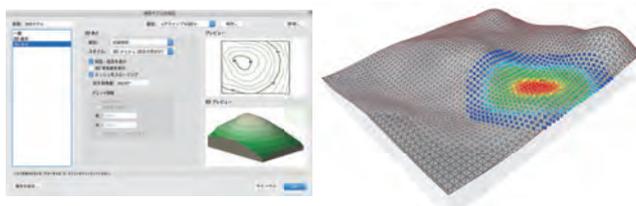
多くの壁やスラブなどは単一材料ではなく、複数の材料で構成されています。それをスタイルとして保存することで、スタイルを選びながら素早くモデリングできます。作成した壁のスタイルを変更するだけで、詳細な壁に変えることが可能です。また、スタイルを社内の標準仕様として共有できます。躯体以外についても専用ツールが搭載されているため、階段ツールや手摺ツールを使うことで、数値変更が可能な3Dモデルを作成することができます。Vectorworks Architect または Designer では、無償提供中の「木造 BIM ツール」「木造建具ツール」を使うと、住宅の軸組や日本仕様の建具をモデリングできます。



地形モデルの作成と編集

NEW A L S F

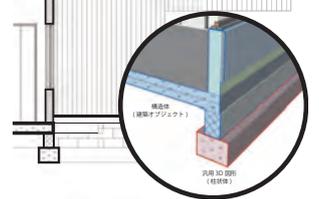
国土地理院の数値地図データや測量データを取り込み、現況の地形モデルを素早く作成できます。さらに造成面や法面を指定し、計画地形モデルの表示や切土 / 盛土の算出が可能です。部分的に舗装を変えたい場合は、テクスチャ範囲を指定することで実現できます。バージョン 2019 からは、敷地範囲の2D形状からダイレクトに地形モデルに変更したり、スカルプターツールを使って地形表面に直感的に凹凸を設けることができるようになりました。



モデルとリンクした図面 / レポート作成

NEW UP A L S F

デザインの次に必要なものは提出物としての設計図書です。作成した建築 BIM モデルから各種ビューポート機能を使って、平面図や立面図、断面図や展開図を取り出すことができます。断面図では、自由形状の3Dモデルでも建築オブジェクトと包絡処理でき、切断位置の手前や奥にあるオブジェクトの表示状態を設定することで、柔軟な図面表現が可能です。新しく搭載されたデータタグツールは、図面作成をさらに効率的にします。モデルに含まれる情報は、ワークシートに集計することで一覧表として取り出すことができます。モデルや情報の変更があった場合は、ビューポートやワークシートを更新するだけで最新状態を確認できます。



多彩なプレゼンテーション

A L S F

敷地の緯度経度を設定することで、任意の日時における太陽光をすぐに再現できます。標準で47都道府県庁所在地が登録されているため、多くの地域では都市名を選択するだけです。3Dモデルの背景には、時刻と連動したフィジカルスカイを設定でき、太陽光設定の時刻に合わせて空の外観が変更されます。ソーラーアニメーションで取り出す際には時刻の推移に自動調整されます。3Dモデルのプレゼンテーションとして VR の活用もできます。Webビュー取り出しを行うことで Web ブラウザなどでウォークスルーができ、HTC Vive や Oculus Rift を使うと没入感のある VR を体験することが可能です。



広がる BIM モデルの活用

UP A L S F

BIM の標準ファイルフォーマットである IFC に正式対応しています。BIM モデルを IFC に取り出すことで、世界中にある多くのアプリケーションで活用することができます。Vectorworks に標準で搭載されているライブラリは、最新バージョンの IFC (IFC2x3, IFC4) と COBie (v.2.4) に対応しているため、建物モデルを業界標準の IFC と COBie に素早く確実に取り出すことができます。



主な機能一覧

ベーステクノロジー

D A F

Parasolidモデリングカーネル	●	●	●
高速な描画テクノロジー (VGM)	●	●	●
CineRenderR19レンダリングエンジン	●	●	●

2D/3D基本機能

D A F

線と面の2D汎用作図機能	●	●	●
図形への透過/影表現	●	●	●
2D/3D対応の文字、寸法作図機能	●	●	●
スナップルーペ・X線選択モード機能	●	●	●
イメージのクロップ/圧縮機能	●	●	●
データベース/ワークシート機能	●	●	●
シートレイヤ・ビューポート機能	●	●	●
オーガナイザ (図面構造の集中管理)	●	●	●
リソースの総合管理 (リソースマネージャ)	●	●	●
2Dコンポーネント機能	●	●	●
フローティングデータバー	●	●	●
ウインドウタブ機能	●	●	●
MacBook Pro Touch Bar 対応	●	●	●
2D→3Dへのプッシュ/プルモード	●	●	●
多彩な3Dモデリング機能	●	●	●
強力な3D編集機能	●	●	●
3Dモデル断面表示 (クリップキューブ)	●	●	●
2D/3D対応のワーキングプレーン	●	●	●
クラウド連携・リモート機能	●	●	●
PDF (2D) 取り出し	●	●	●
PDF (2D) 取り込み・PDF (3D) 取り出し	●	●	●
パブリッシュ機能 (DXF/DWG/DWF)	●	●	●
パブリッシュ機能 (PDF/印刷/イメージ)	●	●	●
3Dレンダリング機能	●	●	●
バックグラウンドレンダリング機能	●	●	●
ビューポートレンダリング機能	●	●	●
写真と3Dの合成機能 (Camera Match)	●	●	●

2D/3D基本機能

D A F

イメージエフェクト機能	●	●	●
豊富なシェダ機能	●	●	●
パララックスパンプ (テクスチャ機能)	●	●	●
シャドウキャッチャー (テクスチャ機能)	●	●	●
背景テクスチャ/フィジカルスカイ	●	●	●
背景放射光	●	●	●
コースティクスフォトン機能	●	●	●
ソフトシャドウ機能	●	●	●
アンビエントオクルージョン機能	●	●	●
Webビュー (VR) 取り出し	●	●	●
パノラマビュー取り出し	●	●	●

建築・内装設計機能

D A F

データタグ機能	●	●	●
スペース作成機能 (空間定義)	●	●	●
ストーリー[階層]管理機能	●	●	●
構造材作図機能	●	●	●
柱/ビラスター作成機能	●	●	●
壁作図/スタイル (構成要素) 登録機能	●	●	●
カーテンウォール作成機能	●	●	●
スラブ/水勾配作成機能	●	●	●
屋根作成機能	●	●	●
ドア・窓作成機能	●	●	●
プラグインオブジェクトスタイル機能	●	●	●
外壁一括採寸機能	●	●	●
投影図ビューポート機能	●	●	●
室内展開図ビューポート機能	●	●	●
水平/垂直/断面ビューポート機能	●	●	●
詳細ビューポート機能	●	●	●
ビューポートのデータ可視化機能	●	●	●
ビューポートのリアルタイム編集機能	●	●	●
表題欄マネージャ	●	●	●

建築・内装設計機能

D A F

2D平面の回転機能	●	●	●
統合ビュー機能	●	●	●
プロジェクト共有機能	●	●	●
DXF/DWG 取り込み/取り出し	●	●	●
Revit ファイル取り込み	●	●	●
IFC 取り込み/取り出し	●	●	●

都市計画・ランドスケープデザイン機能

D A F

GeoTIFF 対応のジオリファレンス機能	●	●	●
地形モデル作成編集機能	●	●	●
地形モデル上の造成機能	●	●	●
ランドスケープエリア作成機能	●	●	●
既存樹木機能	●	●	●
群葉の表現機能	●	●	●
道路・ガードレール作成機能	●	●	●
舗床の作成機能	●	●	●
多機能の植栽ツール機能	●	●	●
植栽イメージ・植栽添景ライブラリ	●	●	●
AutoTURN Online機能	●	●	●

ステージ&ライティング計画機能

D A F

柔軟な座席レイアウト機能	●	●	●
パーティションボール作成機能	●	●	●
イベント空間計画機能	●	●	●
ステージステップ/スロープ作成機能	●	●	●
柔軟な吊り元作成機能	●	●	●
トラス/ホイス/ブライダル作図機能	●	●	●
照明器具データ・配置機能	●	●	●
柔軟な照明用番号付け	●	●	●
スピーカー配置機能	●	●	●
電源やケーブルシステムの作図機能	●	●	●
ビデオスクリーン作図機能	●	●	●

ファイル互換一覧

		D	A	F
取り込み	DXF・DWG (R2.5 ~ 2019)/DWF (4.2・5.5・6.0)/EPSF (1.6)/イメージファイル(BMP・GIF・JPG・JPEG・JP2・PNG・TIFF・ICO・[Windowsのみ: WDP・DDS・EMF]・[Macのみ: JP2・TGA・EXR・PSD])/PDF (1.7)・PDF A-1b (1.4)/スクリプト(TXT・PY・VSS・VS)/ワークシート・データベース(TXT・CSV・DIF・SLK)/スクリプト(TXT・VSS・VS・PY・PXC・MPC)/IGES (IGS・IGES)/OBJ/SAT/STEP (STP・STEP)/STL/Rhino (3DM)/Parasolid (X_T 9 ~ 31)/Cinema 4D テクスチャ (R13 ~ 20)/mtxtur テクスチャ/Arroway テクスチャ/HDR (HDR・EXR)/Distribution ファイル (IES)/MCD (7 ~ 12)/VWX (2008 ~ 2018)	●	●	●
	IFC・IFCXML・IFCZIP (2x2・2x3・4)/Revit (2011 ~ 2018) (RVT・RFA)/PDF (1.4)/3DS/SketchUp (SKP 3 ~ 2017)/点群(LAZ・LAS・PTS・E57・XYZ・PLY)	●	●	●
	Shape (SHP)/座標データ (TXT,CSV)	●	●	●
	隣接マトリックス (CSV)/BCF (BCFZIP)	●	●	●
	ジオリファレンスイメージ (BPW・JGW・PGW・TFW・GFW・WLD・ECW)	●	●	●
照明器具情報 (Lightwright5)/ホイスデータ (TXT)/MVR (0.87)	●	●	●	
取り出し	DXF・DWG (R12 ~ 2019)/DWF (4.2・5.5・6.0)/EPSF (1.6)/イメージファイル(BMP・GIF・JPG・JPEG・PNG・TIFF・[Windowsのみ: WDP・DDS・EMF]・[Macのみ: JP2・TGA・EXR・PSD])/PDF (1.7)・PDF A-1b (1.4)/スクリプト(TXT・PY・VSS・VS)/ワークシート・データベース(TXT・CSV・DIF・SLK)/Cinema 4D (R19)/COLLADA (DAE)/FBX/IGES (IGS 5.3)/OBJ/SAT/STEP (STP)/STL/Rhino (3DM)/Parasolid (X_T 9 ~ 31)/Strata Vision/HDR (HDR)/パノラマビュー (HTML)/アニメーション (MOV)/VWX (2014 ~ 2018)	●	●	●
	IFC・IFCXML・IFCZIP (2x2・2x3・4)/地理空間情報 (KML)/Web ビュー (HTML)/3DS/3D PDF	●	●	●
	ジオリファレンスイメージ (BPW・JGW・PGW・TFW・GFW・WLD)/Shape (SHP)	●	●	●
	BCF (BCFZIP)	●	●	●
	ASCII テキスト (3.0)/照明器具情報 (Lightwright5)/ホイスデータ (TXT)/Vision (ESC)/MVR (0.87)	●	●	●

価格一覧

(スタンドアロン版)

Designer

Architect

Fundamentals

通常製品	価格	¥ 527,000 (税別)	¥ 416,000 (税別)	¥ 305,000 (税別)
	型番	124131	124132	124135
Vectorworks Service Select バンドル [※]	価格	¥ 580,000 (税別)	¥ 458,000 (税別)	¥ 351,000 (税別)
	型番	C124131	C124132	C124135

※購入には、[Vectorworks Service Select バンドル 購入申込書 兼 Vectorworks Service Select 契約申込書] が必要です。

乗換版 [※]	価格	¥ 395,000 (税別)		
(Service Select バンドル製品)	型番	BC124132		

※購入には、[Vectorworks 2019 Design シリーズ乗換版 購入申込書 兼 Vectorworks Service Select 契約申込書] が必要です。

D → Designer

F → Architect

A → Designer

モジュール追加	価格	¥ 222,000 (税別)	¥ 111,000 (税別)	価格	¥ 111,000 (税別)
	型番	VRCR24	VRAR24	型番	ARCR24

推奨動作環境

・最新の推奨動作環境情報は、Webサイトでご確認ください。
<http://www.aanda.co.jp/Vectorworks/sysreq.html>

・Vectorworks 2019を導入する前にご使用のパソコン上で正常に動作するか評価版を使用して確認することをお勧めします。
評価版のダウンロードは
http://www.aanda.co.jp/Vectorworks2019/demo_index.html



VECTORWORKS[®]
ARCHITECT

(2019年1月)



エーアンドエー株式会社
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3-15
<http://www.aanda.co.jp>
営業部
TEL: 03-3518-0131 FAX: 03-3518-0122
受付時間: 9:00~12:00/13:00~17:30 (土日祝日を除く)
email: market@aanda.co.jp